

令和6年度

葛飾区予算案概要

【当初予算案主要事業概要】



令和6年2月



※子ども・子育て支援事業に関連するものを抜粋しております。

持続可能な開発目標（SDGs）17のゴール

<p>1 貧困</p> <p>1 貧困をなくそう</p>  <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>2 飢餓</p> <p>2 飢餓をゼロに</p>  <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>
<p>3 保健</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>4 教育</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>
<p>5 ジェンダー</p> <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>  <p>ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う。</p>	<p>6 水・衛生</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>
<p>7 エネルギー</p> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>8 経済成長と雇用</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。</p>
<p>9 インフラ、産業化、イノベーション</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>10 不平等</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>
<p>11 持続可能な都市</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<p>12 持続可能な生産と消費</p> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>持続可能な生産消費形態を確保する。</p>
<p>13 気候変動</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>	<p>14 海洋資源</p> <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>15 陸上資源</p> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>	<p>16 平和</p> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>17 実施手段</p> <p>17 パートナースHIPで目標を達成しよう</p>  <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>	

Ⅲ 子ども・教育分野

7 子ども・家庭支援

1 母子保健

～安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支えます～

1 ゆりかご葛飾【計画】（福祉費）

青戸保健センター・子育て政策課・子育て応援課ほか 94百万円

妊娠初期に個別に面接（ゆりかご面接）を行い、一人一人の状況に合わせた出産後までのサポートプラン「葛飾区ゆりかごプラン」を作成するとともに、妊娠子育て応援券を配付することで、子育て世帯の育児支援を行います。

乳幼児健康診査や産前・産後の親子を支える様々な事業や医療機関と連携し、就学期前までの継続的な支援を行います。

区民に身近な保健センターや子ども未来プラザ等において、保護者の心身の健康の保持増進を図るための教室、講座等を実施します。また、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行うほか、遊びなどの活動の中で気軽に相談してもらえる体制を作ります。

2 産後ケア事業の充実【計画】【新規】（福祉費）

青戸保健センター・子ども家庭支援課 146百万円

誰もが産後ケアを利用できるように実施施設を拡大します。また、宿泊ケアについては、様々なニーズに応えるため、標準タイプの個室に加えて差額ベッド室など宿泊できる部屋の種類を追加するほか、乳児の発育や育児手技の不安を持つ低出生体重児の母親が、ケアを受ける機会を逃すことのないよう、産後ケアの利用対象期間を拡充します。さらに、乳房ケアの助成回数の拡大、個別デイケアの新設など、産後ケア事業を充実することで、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自

身がセルフケア能力を育み健やかな育児ができるよう、母子とその家族を支援します。

2 子育て家庭への支援



～子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします～

1 子育て子ども未来プラザの整備【計画】（福祉費）

子育て政策課・保育課 189百万円

子育て支援の拠点となる子ども未来プラザを整備し、妊娠期から成人するまでの全ての子どもとその家庭への支援に取り組むとともに、配慮を必要とする子どもや保護者への支援を充実させます。また、区民に身近な場所で、気軽に相談したり仲間づくりができる環境を整えるとともに、地域団体や行政機関等とのネットワークを構築することで、地域の子育て力向上に寄与します。

(1) (仮称) 子ども未来プラザ小菅

小菅保育園

所在地 堀切四丁目60番 (子ども未来プラザ予定地)

小菅二丁目19番1号 (仮園舎)

定員 未定 (現在の定員106人)

保育内容予定 11時間保育・緊急一時保育・障害児保育

開設予定 未定 (公設公営)

(2) (仮称) 子ども未来プラザ白鳥

白鳥保育園

所在地 白鳥三丁目32番 (子ども未来プラザ予定地)

西亀有一丁目18番6号 (仮園舎)

定員 未定 (現在の定員109人)

保育内容予定 1 1 時間保育・1 時間延長保育・緊急一時保育・障害児保育
開 設 予 定 令和9年1月（公設公営）

2 園 使いやすい預かり保育の充実【計画】【拡大】（福祉費）

子育て施設支援課 604百万円

保育施設における延長保育の実施や、私立幼稚園等における教育時間前後や三季休業中の預かり保育の実施、使いやすい一時保育の仕組みの構築を通じて、多様な働き方への対応はもとより、子どもの集団保育の経験や親のリフレッシュ・レスパイトを目的とした利用など、保育施設利用者、幼稚園利用者、家庭で子どもを保育する保護者、それぞれが使いやすい預かり保育を実現します。

3 園 幼児二人同乗基準適合自転車等購入費助成事業【拡大】（福祉費）

子育て応援課 400百万円

小学生未満の子どもを育てる家庭に対し、幼児二人同乗基準適合自転車等の購入費を助成することで、移動に関する負担軽減や外出時の安全性確保、外出促進を図ります。

6年度は、助成対象者を「小学生未満の子どもを2人以上養育している世帯」から「小学生未満の子どもを1人以上養育している世帯」に拡大するとともに、助成対象店舗も拡大することで、子育て世帯への移動支援を充実させます。

対 象 品 目 自転車、純正バッテリー、幼児用座席、幼児用ヘルメット
補 助 率 1 / 2
補助上限額 5万円

3 仕事と子育ての両立支援



～仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます～

1 総合的な保育充実支援【計画】【拡大】（福祉費）

子育て施設支援課 488百万円

質の高い保育の提供をめざすため、保育人材の安定的な確保や、保育士の経済的負担軽減の支援により、保育士の働く環境を改善することで人材の定着を図るほか、指導検査の効果的な実施など総合的な保育の充実につながる取組を実施します。

(1) 就職フェア・就職相談等の実施

就職フェアの実施、保育士募集パンフレットの作成により、葛飾区で保育士として働く魅力を発信するとともに、就職相談を積極的に実施することで、保育施設への就職を支援し、人材の確保を図ります。

(2) 保育士・幼稚園教諭奨学金返済支援事業等

奨学金返済支援事業や宿舍借上支援事業等の実施により、保育士・幼稚園教諭等の経済的な負担を軽減し、葛飾区で働く魅力づくりにつなげることで、人材の確保と定着を図り、保育施設等が充実した保育を実施する支援を行います。

(3) 指導検査体制の強化（新規）

効果的な指導検査を行うため、保育施設の会計に精通した公認会計士等を活用し、職員へのスキルアップを図るとともに検査の精度を高め、安定した保育運営の支援を行います。

2 送迎保育ステーションモデル事業【新規】（福祉費）

子育て政策課 12百万円

保育園の送迎時に駅前でお子さんを預かり、複数の保育園へのバス送迎を行う「送

迎保育ステーション」のモデル事業を実施します。本事業を実施することにより、保育需要の地域偏在や、保育園利用者の子育てと就労の両立の課題に対応していきます。

送迎保育ステーション（予定）

設置場所	カナマチぷらっとキッズスペース
開所日時	月曜日から土曜日（祝日及び年末年始を除く）
登園	午前7時～午前8時
降園	午後5時～午後8時（午後6時以降は延長保育）
対象児童	水元地域の保育所等に入所する1～5歳児
定員	20人

4 放課後支援



～子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごせるようにします～

1 学校施設等を活用した放課後子ども支援事業【計画】【拡大】（教育費）

地域教育課・放課後支援課 533百万円

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校に整備します。具体的な取組として、放課後等における児童の見守り体制の充実を図るとともに、わくわくチャレンジ広場の対象学年の拡大や、三季休業日の実施校を増やしていきます。また、再開発などにより待機児童が多い地域について優先的に、学校改築時の学童保育クラブの新設や新たな待機児童対策を進め、将来的な待機児童ゼロをめざします。

6年度は、水元小学校、道上小学校内及び新小岩地域に学童保育クラブを整備していきます。

また、新たな待機児童対策として、学校内の諸室を活用した放課後の居場所づくり

の学童保育クラブ待機児童解消見守り事業を実施します。

5 子ども・若者支援



～子どもの権利・利益を守り、若者の社会的な自立を支援します～

1 児童相談の充実【計画】（福祉費）

子ども家庭支援課・児童相談課 47百万円

複雑化・深刻化する児童虐待や養育困難などの子どもと家庭に関する相談に対して、子ども総合センターが中核となり関係機関とのネットワークを更に深化させ、子どもや保護者一人一人の状況に合わせた支援をこれまで以上に適切かつ迅速に提供します。

また、区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を強化します。

2 里親委託等推進事業【計画】【新規】（福祉費）

児童相談課 49百万円

社会的養護を必要とする子どもたちに里親家庭という選択ができるように、里親制度に関する普及啓発と里親のリクルート活動を行い、里親登録数の向上を図ります。里親の登録に当たっては、葛飾区児童福祉審議会里親認定部会に諮問し、答申を受け、葛飾区里親認定基準に適した里親を認定します。

子どもたちが安心して里親家庭で生活できるように、里親養育包括支援事業を民間フォスターリング機関に委託し、里親を包括的に支援する体制を構築し、里親と子どもを支え、子どもの最善の利益を確保します。里親、外部委員、関係機関職員による里

親委託等推進委員会を設置し、里親登録数と里親委託の状況を共有し、適切な事業の運用を実現します。

3 園子ども・若者支援体制の充実【計画】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 55百万円

子ども・若者の健やかな成長を支えるため、家庭の経済状況や養育環境、ひきこもり状態、孤立など様々な事情を有する子ども・若者やその家族からの相談を受け、関係機関や地域活動団体と連携して適切な支援を行います。

また、子ども・若者の安全・安心な生活を支えるため、高校中退の未然防止、高校中退者・進路未決定者への就学支援等を行うとともに、子どもの学習等の意欲を喚起する支援を行います。

4 園子ども・若者活動団体支援【計画】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 50百万円

社会生活を営む上で、様々な困難や事情を有する子ども・若者（おおむね39歳まで）を支援する地域活動団体の活動を支援するとともに、区と地域活動団体との連携を深め、子ども・若者の健やかな育成を図ります。

また、5年度に引き続き、かつしか子ども食堂マップに対する助成や会食形式の子ども食堂で実施するイベントに対する助成を行います。

※P-110 「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」の活用の一部再掲

5 園 ヤングケアラー等支援事業【計画】【新規】（福祉費）

子ども・子育て計画担当課 1.8百万円

本来大人が担うことが想定される家事や家族の世話などを行っている子どもであるヤングケアラーについて、社会的認知度を向上させるための周知啓発や、ヤングケアラーとその家族への支援を行う団体へ運営費の助成等を行います。

8 学校教育

1 学力・体力の向上



～学力・体力の向上を図り、子どもたちの生きる力を育みます～

1 園 総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～【計画】（教育費）

指導室 98百万円

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともにICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。

さらに、小学校の学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

2 園 教育情報化推進事業【計画】（教育費）

学校教育推進担当課 1,867百万円

人工知能(AI)やビッグデータ、IoT等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができる学校教育を実現するとともに、災害や感染症の発生等

による緊急時においても、全ての子どもたちの学びを保障するため、学校における ICT 環境の整備や授業及び校務における ICT の活用等、教育の情報化の更なる推進を図ります。

6年度は、プログラミングコンテストの拡充や中学校用プログラミング教材の導入等、情報教育の充実を図るとともに、学校の印刷環境の見直しや中学校におけるデジタル採点システムの導入等、ICT を活用した教員の働き方改革を推進します。

※P-40 かつしかチャレンジプログラム 及び P-108 デジタル技術の効果的な活用推進に一部再掲

3 囲体力向上のための取組【計画】（教育費）

指導室 6百万円

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学1年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」を、中学校の保健体育の授業においては、外部有識者と連携し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を継続して実施します。

4 囲かつしかチャレンジプログラム【新規】（教育費）（一部再掲）

指導室・学校教育推進担当課 12百万円

学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、土曜日を中心として活動し、もてる能力を更に向上させるための、かつしかチャレンジプログラムを開設します。

6年度は、「自然科学コース（科学教室）」（小・中学生対象）、「プログラミン

グコース」(小・中学生対象)、「English challenge コース」(中学生対象)を実施し、思考力やコミュニケーション能力等の更なる育成を図ります。

2 一人一人を大切にすゑ教育の推進



～一人一人を大切にすゑ教育を推進し、全ての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるようにします～

1 発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実

【計画】 【拡大】 (教育費)

学務課・学校教育支援担当課 165百万円

発達障害等のある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全区立小・中学校で実施するほか、多層指導モデル(デジタル版MIM)を引き続き実施します。

6年度は、「クラス支援員」を配置し、発達障害等のある児童・生徒が、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。また、子どもとの関わり方に困っている保護者向けの「ペアレントトレーニング」を拡大して実施します。

2 日本語指導の充実【計画】 【拡大】 (教育費)

学校施設担当課・学務課・学校教育支援担当課 70百万円

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を引き続き委託により運営します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。

6年度は、「にほんごステップアップ教室」の新小岩教室を開設します。

3 不登校対策プロジェクト【計画】【拡大】（教育費）

学校施設担当課・学務課・学校教育支援担当課 78百万円

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石（教育支援センター）」を運営するとともに、登校はできるものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内サポートルーム」を、6年度は水元中学校、常盤中学校及び四ツ木中学校に開設します。さらに、7年度に向け、5校の開設準備を行います。

4 いじめ防止対策プロジェクト【計画】（教育費）

学校教育支援担当課 8百万円

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

また、学校の適切な初動対応のため、引き続き学校現場の相談を受け、問題解決を図るための弁護士を配置します。

3 教育環境の整備



～いきいきと学校生活を送れるよう、教育環境を整えます～

1 学校施設の改築【計画】（教育費）

学校施設計画担当課・学校施設担当課・学務課 13,188百万円

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築・改修等を推進していきます。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

6年度は引き続き改築を進めます。

(1) 水元小学校

所在地 水元四丁目21番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上3階建

延床面積 約7,985㎡

実施内容 新校舎建設工事

竣工予定 令和8年4月

(2) 道上小学校

所在地 亀有四丁目35番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上5階建

延床面積 約8,783㎡

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和8年8月

(3) 二上小学校

所在地 東新小岩七丁目18番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約9,341㎡(保育園部分含む。)

実施内容 新校舎建設工事

竣工予定 令和10年2月

(4) よつぎ小学校・四ツ木中学校

所在地 四つ木四丁目8番1号(よつぎ小学校)
四つ木四丁目22番1号(四ツ木中学校)

施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約13,013㎡

実施内容 実施設計、仮設校舎建設、既存校舎解体工事

竣工予定 令和11年4月

(5) 宝木塚小学校

所在地 宝町二丁目29番23号

施設規模 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建
延床面積 約7,592㎡

実施内容 新校舎建設工事、既存校舎解体工事

竣工予定 令和10年11月

(6) 常盤中学校

所在地 金町二丁目11番1号

施設規模 鉄筋コンクリート造地上4階建
延床面積 約7,821㎡

実施内容 実施設計、新校舎建設工事、既存体育館解体工事

竣工予定 令和10年9月

(7) 柴又小学校

所在地 柴又四丁目30番1号

実施内容 改築基本構想・基本計画の策定

(8) 木根川小学校・渋江小学校・中川中学校

所在地 東四つ木一丁目10番1号（木根川小学校）

東四つ木二丁目13番1号（渋江小学校）

東四つ木一丁目3番1号（中川中学校）

実施内容 基本・実施設計

2 Ⅲ 学校施設のバリアフリー化推進事業（教育費）

学校施設担当課 133百万円

誰もが安心して学び、育つことができる教育環境の整備を推進していくため、学校施設におけるバリアフリー化の取組を進めます。

6年度は、小学校4校・中学校1校にスロープを設置するほか、小学校2校に車椅子使用者用トイレを設置します。

9 地域教育

1 学校・家庭・地域の連携



～学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくれます～

1 国 中学校部活動の地域移行【計画】【新規】（教育費）

地域教育課 28百万円

中学校部活動の維持・充実を目的として、部活動の地域への移行を進めるため、区立中学校の中からモデル校を指定し、新たに地域クラブ活動を試行的に実施します。その結果得られた成果や課題について検証を重ねながら、本区における地域移行の展開方法を検討していきます。

また、部活動については、学校の状況を考慮しながら、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置の充実を図ります。

6年度は、中学校1校で新たに地域クラブ活動を試行的に実施します。

10 生涯学習

1 区民学習



～多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援します～

1 国 学びの機会の充実【計画】（教育費）

生涯学習課 8百万円

あらゆる世代の区民が充実した人生を生きるため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を拡充します。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更

に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、オンラインによる講座の開催など、ICTを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

1 1 **スポーツ**

1 スポーツ活動の推進



～区民誰もが多様なスポーツに親しみ、健やかに暮らせる環境をつくります～

1 **■** 高齢者の健康づくりの推進【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 8百万円

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用していくことで、高齢者が身近な地域で安心、安全にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。

これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握したうえで運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの3種目を普及促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するために、ウォーキング・ランニング事業を実施します。

(1) ～測って、知ろう～体力テスト 大規模測定会（奥戸SC・水元SC）

年 2回 各300人

出前形式 年10回程度 各100人

(2) 高齢者推奨スポーツ	体験会（3種目）	年各2回程度
(3) レクリエーションスポーツ	体験会	年1回 300人
(4) ウォーキング・ランニング推進	ウォーキング	年1回 400人
	シティロゲイニング	年1回 300人
(5) ランニングステーション事業	ランニング	5教室
	ウォーキング	5教室
(6) スポーツ指導員養成講習会	共通科目	年1回 50人
	専門科目	年3回 各20人
(7) スポーツボランティア講習会		年2回 各30人程度

2 障害者スポーツの推進【計画】【拡大】（教育費）

生涯スポーツ課 10百万円

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員の養成と発掘をするとともに、年間を通して定期的に教室や開放事業を開催して指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現に向けて、ユニバーサルスポーツの普及と発展及び指導員やボランティアの育成をめざします。

6年度は、パリ大会を契機として、日本ブラインドサッカー協会との連携・協力協定による普及啓発イベントを実施します。

(1) 障害者水泳教室	年42回	各10人～20人
(2) 障害者スポーツ教室	年24回	各20人～40人
(3) 障害者スポーツ指導員養成・活用	講義9回・実技4回	20人
(4) ボッチャ	開放事業	週1回程度
(5) フロアホッケー	大規模大会	年1回
	開放事業	週1回程度

(6) ブラインドサッカー

小・中学校向け出張型体験授業 年4校

普及啓発イベント

3 区民健康スポーツ参加促進事業【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 39百万円

区民のスポーツ実施率を向上させるため、一般社団法人葛飾区体育協会と連携して、体育協会加盟41団体が実施するスポーツ体験教室や大会、指導員養成等について支援します。これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。

かつしかふれあいRUNフェスタは、堀切水辺公園をメイン会場に荒川河川敷管理道路をコースとして実施しています。今後、おもてなしサービスやコースの充実等を図り、区民により身近なイベントとして、地域事業者や地域団体との連携を深めるとともに、家族みんなで参加者を応援することや、ボランティアとして大会に参加するなど、ランナー以外の区民も参加できる葛飾らしいイベントとしていきます。

2 スポーツ基盤整備



～区民誰もが安全・快適にスポーツに親しめる環境を整備します～

1 区民スポーツ施設の利用しやすい環境整備【計画】（教育費）

生涯スポーツ課 265百万円

スポーツ施設の利便性・安全性を向上させるための改修などに計画的に取り組み、安心して利用しやすい環境整備を進めます。

6年度は、奥戸総合スポーツセンター少年野球場改修工事のほか、奥戸総合スポーツセンター少年野球場駐車場等改修設計や奥戸総合スポーツセンター体育館照明設備

改修工事、荒川河川敷グラウンドトイレ改修工事に着手します。